

## 「産地」と「消費者」のネットワークで実現。木・紙・土・自然素材が息づく家づくり

今、住宅業界の競争は大きく3つの方向があるように思います。

- 1つは、「ローコスト住宅」
- 2つ目は、市街地や厳しい住環境に対応した、もしくは省エネに重点をおいた「高気密・高断熱住宅」
- 3つ目は、今回ご登場いただいたベストワン・プランニング様のように自然素材だけを使った「住む人と地球にやさしい住宅」

上記にもありますように、今回ご紹介させていただくのは、自然素材にとことんこだわった地域の住宅会社様の事例です。自然素材にこだわった家づくりについては最近耳にすることが多くなりましたが、お客様の獲得・拡大が課題となるケースが多いようです。しかし、このベストワン・プランニング様では、住宅だけでなく、「健康・環境」などに関心が高いグループとのつながりから、着実に実績を重ねておられます。

### 「素性のわからない素材は使わない」だからこそ実現できる“人・環境・未来”にやさしい家づくり

「自分達だけが安全な空間を得られたらいいのではなく、次の世代にも安全なものを引き継いでいかなければならないと思っています」

住んでいる人が安全であることはもちろん、廃棄されるときも有害ガスを発生せず、地球環境に負荷をかけることがない素材。それが、ベストワン・プランニング様のご提案される住宅に使われている素材です。そんなこだわりの素材を手に入れるため、長良社長様は、苦勞して人と素材のネットワークを作り上げ、材料を産地から直接仕入れ、「直につきあう」というスタイルを大切にしておられます。

「パンフレットを見たり、地元の木材屋さんと話をしているだけでは、我々の目指す家づくりに適した材料を手に入れることはできません。近頃は、国産材にも平然と防腐処理されるようになりましたが、そんな素材は我々がご提供したい住宅には合いませんから、産地で直接交渉するしかありません」

また、長良社長様は、「生産者と消費者の間にあるギャップを埋めていく必要がある」と言われます。例えば、鮮やかな緑色に染められた畳表もそのギャップから生まれた商品です。

「畳のい草は発ガン性があると言われていたような染料で全部グリーンに染められています。でも、本来はアメ色。それを、流通業者が『消費者は最初から焼けたような色の畳は買わない』と決めつけているのです。消費者は安全なものを求めているのに、供給する側が誤解をしているのです。ですから、私は、お客様に正しい情報を伝えて、より安全な商品を採用していたできるようにしています」

このように、長良社長様のこだわりは徹底しています。そして、ここまで素材にこだわられるには、理由がありました。

### きっかけは阪神大震災「赤ちゃんが安心して過ごせる場所」をつくりたい

震災直後、建築の残材が野焼きされ、ダイオキシンがでている様子を目の当たりにされたとき、もっと建材1つ1つにこだわり、一步突っ込んだ視点で商品を選択する必要があることをお感じになった社長様。震災以前から依頼があった母乳育児教室のリフォームを設計しなおすことを決心されました。

「最初は、ベニヤ板にビニールクロスを張ってできるだけ安く仕上げよう、という話でした。ですが、震災直後の状況を見て、小さな赤ちゃんがたくさん来る場所にホルムアルデヒドがでるような素材を使っても大丈夫なのかと疑問に思い、本物の自然素材を使った家づくりを考えることにしたのです」

(株) ベストワン・プランニング様  
ホームページアドレス <http://www.best1-planning.co.jp/>

それをきっかけに長良社長さまの猛勉強が始まりました。国内だけにとどまらず、環境先進国ドイツにも足を運ばれたとか。そこでは、自然素材を使うことだけでなく、どのように破棄されるか、また自然エネルギーの活用に至るまで様々なことを学ばれました。

### どんな端材も無駄にたくない! 「切り落とし材」から生まれた人気の手づくり家具

出入りしていた手先の器用な電気工事の職人さんが、余った木で自分の子どものために積み木を作ったのがベストワン・プランニング家具の始まり。あまった端材は、造りつけの本棚づくりに利用されたり、近所の幼稚園・小学校で工作の時間に使ってもらうなど、大切な資源を余すところなく活用しておられます。

「今では、事務所の前を通る人から家具がほしいと言われるまでになりました。3ヵ月～半年先でないと受注できない状態です」

### 「環境・健康」で繋がる・広がるネットワーク

「当社には営業マンが1人もいません」と言われるベストワン・プランニング様では、お客様はすべて口コミ紹介です。先述の母乳育児教室にお越しのお母様方、生協など“食の安全”や“健康・環境”に関心が高いいくつかのグループと一緒に実施される“勉強会・構造見学会・そしてワークショップ”がお客様との接点です。このワークショップでは、お施主様と同じ仲間の方たちが、「壁塗り」「和紙貼」など家づくりの一部を体験することができます。いつもグループで勉強会をし、信頼関係を築きあげておられるからこそできるベストワン・プランニング様ならではのお客様へのアプローチです。家づくりに参加することで、より家に愛情を持っていたきたい、という社長様のメッセージが伝わってきます。「そのようなグループに所属しておられる方はもともと環境への意識が高いので、少しコストが上がってもいい家が欲しいという気持ちを強くお持ちです。勉強会やワークショップに来られた方の中から家を建てたいとご相談いただけます。一方で、いろいろな場所で勉強しておられる方も多いので、そんな方を選んでいただくため、こちらも日々努力をして特徴をもたなければならぬと思っています」と、どこまでも研究熱心な社長様らしいお答えです。

また、「建てた家のご近所の人から、『木の香りが他の住宅会社の家とは全然違うから見せてほしい』と言われることもあります」とうれしそうにお話くださいました。

### お客様や建てる環境、省エネに配慮しながらの家づくりが求められる

“自然環境の中でいかに快適な家ができるかということ”を第一目標とし、できるだけ自然の空気を取り入れた、通気性の高い家であること”が長良社長様のお考えになる家づくりの基本。ですが、近頃では一概には言い切れないとおっしゃいます。

「最近、田園都市でも農薬の問題があり、必ずしも外気が安全とは言いきれません。山の中にある家でもスギ花粉に苦しんでいる方がおられます。特に当社に相談にお越しになるお客様はアトピー・アレルギー等に苦しんでおられる方も多く、お客様や建てる環境、省エネに配慮しながらの家づくりも必要だと感じています」つい先頃、お客様のご要望があり、エコキュート<sup>※</sup>が採用されたオール電化住宅を手懸けられたとか。

「オール電化は、高齢のお母様に配慮し、安全性を重要視されたお客様のご要望でした。ランニングコストの安いエコキュートも、お施主様のニーズに合ったようです」

無垢の木がふんだんに使われた空間、手触りがよい手づくりの家具、そして住まいをより快適にするための新しい設備との融合により、長良社長様の「人と環境にやさしい究極の家」は、より魅力を増していきます。

※エコキュートは自然冷媒(CO<sub>2</sub>)を使ったヒートポンプ給湯機



▲構造見学会でも驚くほど多くの人が、所狭しと参加されます。本当に勉強したい人ばかりの集まり。話を聞く皆さんの表情も真剣です。



▲ワークショップでは、実際に「壁塗り」「和紙貼」「塀のベランダ塗り」など家づくりの一部を自分達の手で体験できるなど自らが参加することで家づくりの楽しさをより実感することができます。